

青年部
コーナー

「組織を超える、交流広がる」

（商工会議所青年部との交流研修会を開催）

宮城県商工会議所青年部連合会の代表者との交流会が、

十一月二十八日（火）に大崎市みちのく古川・食の蔵醸室

が一堂に会し、日頃の活動について意見・情報の交換を行うとともに、一歩進んでお互

を会場に開催された。



県下全域から青年部員が集結

商工会女性部リーダー研修会

（今、地元の店がこんなに元気！）

だきました。

去る十一月十日（金）、仙台ガーデンパレスを会場に、

平成十八年度商工会女性部リ

ーダー研修会が、県下商工会女性部のリーダー百十三名の参加のもと開催されました。

研修は二本立てのテーマで、最初に「事例で見る全国の繁盛店ナマ情報～今、こんな地元の店が、こんなに元気！」と題して、フリーアナウンサーの河崎早春氏より講演いた

た。参考になる内容でした。

講師は商業番組のキャスター

として、全国の多くの社長と話をする機会があり、その中から人気店、繁盛店となつた事業主のお客様に対する接

続方や、お客様の反応などを具体的に、かつ、参加者から笑いが生まれるほど楽しく紹介していただきました。今後

次に、「地域ブランドづくり～坊ちゃん石けんのブランドパワー～」をテーマとして、（株）アイグラフ 代表取締役 猪狩和浩氏より講演を行いました。

参加者は、最後まで熱心に講師の話に耳を傾けており、自分の店の経営や今後の女性部活動に大変参考となる研修

事業と地域貢献へ資することを目的に毎年開催されている。今年で八回目を数えるこの交流研修会には、例年本会青

年部連合会の代表者が参加し、加してきたことから、参考範囲を広げ、今回初めて全県下の青年部代表者に呼び掛けての実施がなされた。

先に、両青年部連合会の活動状況について発表が行われ、順次参加した十九商工会青年部（参加二十五名）と六商工会議所青年部（参加三十八名）の活動報告がなされた。

また、続く経営革新セミナー

では、「企業を活性化させたところであるが、昨今の県内市町村合併により、会議所と商工会の並存地区が増加してきたことから、参考範囲を広げ、今回初めて全県下の青年部代表者に呼び掛けたことの重要性について研修がなされた。

その後の懇親会では、組織を超えてお互いの商売について深い意見交換等が交わされる場面もあり、参加者にとって非常に有意義なものであつた。



研修会の様子

た販売促進の手法を研修しました。

参加者は、最後まで熱心に講師の話に耳を傾けており、自分の店の経営や今後の女性部活動に大変参考となる研修会となりました。

に知名度が上がらないという悩みを受けて取り組んだ坊ちゃん石けんプロジェクトを例にあげ、製品の広告宣伝のやり方として、製品をお客様のニーズに合わせ変更する「マーケットイン」、製品はそのまま広告の仕方を工夫する「プロダクトアウト」といっ

るパーソナルブランドティングのすすめ」と題し、㈱クライアントサイド・コンサルティング 代表取締役社長 越石一彦氏より、自らの強みと商売の基礎を改めて見つめ直すことの重要性について研修がなされた。

各種共済
その他

安い掛金で大きな安心 宮城県火災共済グループ

火災共済



自動車共済



医療総合共済



傷害総合共済



もよりの商工会へ

お問い合わせ お申し込みは

あるいは直接 宮城県火災共済協同組合

TEL022(263)1265 FAX022(263)2878